



次期学習指導要領に向けて

出典：「令和7年7月4日 中央教育審議会 教育課程企画特別部会資料1」

豊かな学びにつながる学習評価

－「主体的に学習に取り組む態度」に係る評価の改善②－

<思考・判断・表現の評価への付記>

- 「学びに向かう力・人間性等」を教育課程全体を通じた個人内評価として行うことを想定した場合でも、その一部は各教科等における「知識・技能」や「思考・判断・表現」の評価の過程で特に見取れる場合もある。
- 特に、「思考・判断・表現」は「知識や技能を活用して課題を解決するために必要な力」であり、問題発見・解決や、考えの形成・表現、思いや考えを基にした意味や価値の創造といった過程で発揮されるものであり、本部会で議論してきた「学びに向かう力・人間性等」の四つの要素と親和性が特に強い。



- ① 教育課程全体を通じた個人内評価を基本としつつも、思考・判断・表現の過程で、「学びに向かう力・人間性等」の各要素のうち、具体的に見取ることができる要素（初発の思考や行動・好奇心、対話や協働、学びの主体的な調整のプロセスを一体的に見取る）が特に表出した場合には「思考・判断・表現」の観点別評価に「○」を付記することの適否及び知識・技能の習得の過程でこれらが表出した場合の扱いについて要考察
- ② ①のように考える場合、「思考・判断・表現」の評価で、ペーパーテストに偏重した現在の評価が改善され、論述・レポート・作品製作等の「学びの主体的な調整」が求められる評価課題の重視や、それらを核とした授業改善につながる可能性について要考察
- ③ <個人内評価への変更>や<思考・判断・表現の評価への付記>の方向性が、不登校児童生徒に対して特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価を付けづらく、結果として評定も付けられないという実態の改善に寄与する可能性について要考察

親切的な忠言

実業家 渋沢栄一

親切を基礎として与えられた忠言は、終身忘るることの出来ぬものである。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 子供一人一人に、心に残る忠言を与えたいものです。